

(3) 令和元年度自己評価まとめ(職員)

グラフの見方

□ 達成できていない ■ あまり達成できていない ▨ ほぼ達成 ■ 達成

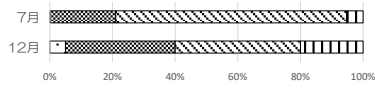
成果

課題

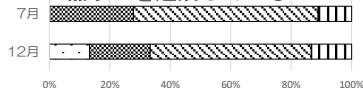
I 確かな学力の向上について(1~6)

1. 基礎的、基本的な知識・技能の習得

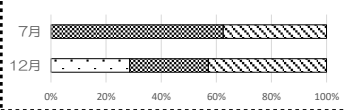
(1) 分かる授業の工夫



(2) 児童の8割は単元テスト80点以上を達成している

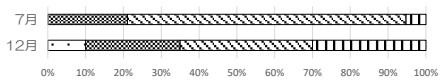


(3) (特支) 児童は個に応じた目標達成

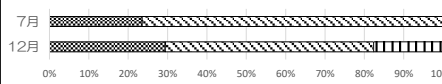


2. 思考力・判断力・表現力の育成

(4) 思考力・判断力・表現力の育成の工夫

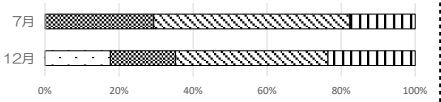


(5) 児童は理解したことの活用しようとする

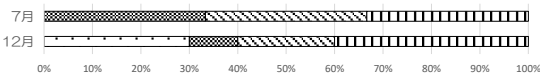


3. 主体的に学習に取り組む態度の育成(人間性等)

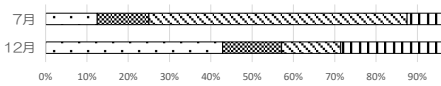
(6) 計画的な読書指導



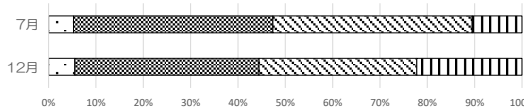
(7) 8割の児童が読書目標冊数の半分以上達成



(8) (特支) 児童は個に応じた目標の達成

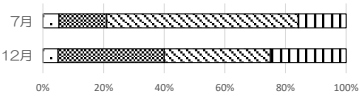


(9) キャリア形成の視点を持った指導

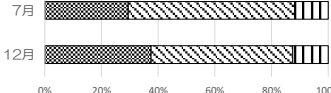


4. 学習を支える力の育成①

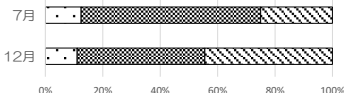
(10) 学習中の話の聞き方、話し方の指導



(11) 児童は話の聞き方、話し方や説明が適切にできる

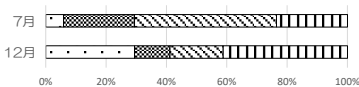


(12) (特支) 児童は個に応じた目標を達成

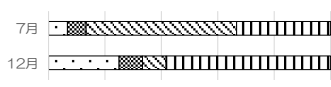


5. 学習を支える力の育成②

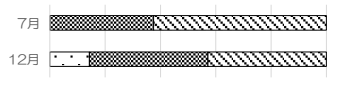
(13) 家庭学習の定着を図る指導・点検



(14) 8割の児童が家庭学習ノート4冊以上



(15) (特支) 個に応じた目標の達成

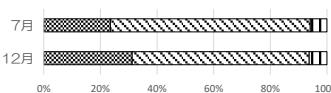


6. 一時徹底について

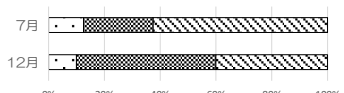
(16) 学習のかまを意識した指導



(17) 規律を守り学習に参加する



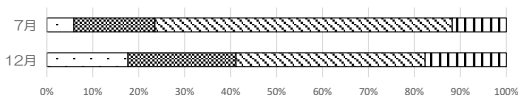
(18) 個に応じた学習規律の徹底



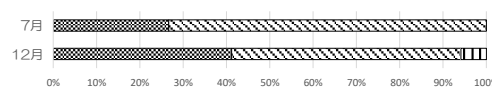
II 豊かな心の育成について(7~8)

7 人間関係づくりの力を育む取り組みの充実

(19) 道徳の時間を要した道徳教育の充実

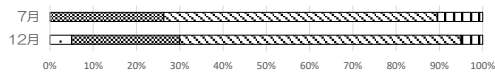


(20) 児童は相手の立場にたった考え方や行動ができる

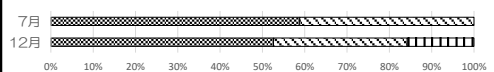


8 自己の将来や生き方を考える指導の充実

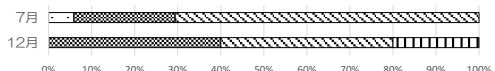
(21) 全教育活動を通してキャリア教育の指導に努めている



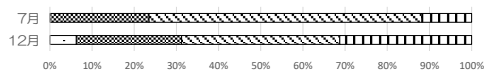
(22) 学級活動等を通して主体的・実践的な活動を行っている



(23) 児童は夢や希望について自分の考えを持っている



(24) 児童は朝活等でみんなのために働くことができる



Ⅲ 健やかな体の育成について (9~13)

9 食育の充実について

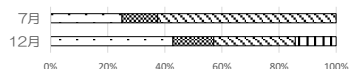
(25) 食に関する指導の充実に努めている



(26) 児童は食事の重要性や喜び、楽しさを分かっ...

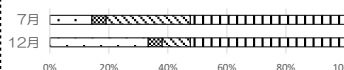


(27) (特支) 児童は個に応じた目標を達成し、好き嫌いせずに食べようとしている

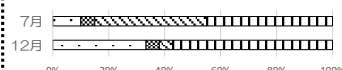


10 安全指導の充実について

(28) 安全点検を充分行っている



(29) 安全指導を適切に行っている

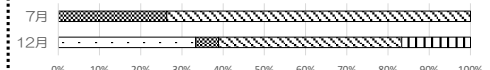


(30) 児童はけがをしないように登下校時に安全に行動できる

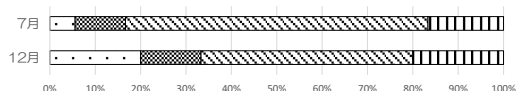


11 健康づくりの充実について

(31) 健康生活について考え、実践できる児童の育成

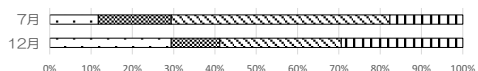


(32) 自分の体の様子を伝えることができる



12 日常的な運動や遊びを通じた体力づくり

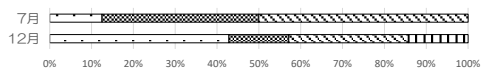
(33) 授業等で児童の体力向上に努めている



(34) 児童は、運動に親しむことができる



(35) (特支) 児童は個に応じた目標を達成できている



(36) 児童はなわとび検定に取り組んでいる 7月調査なし

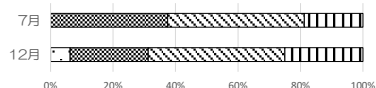


13 基本的な生活習慣の形成

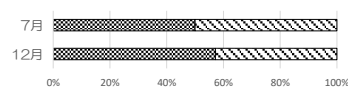
(37) 生活リズム確立の指導



(38) 児童は6時30分までに起き、8時までに登校できる

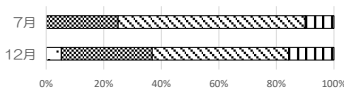


(39) (特支) 児童は個に応じた目標を達成できている

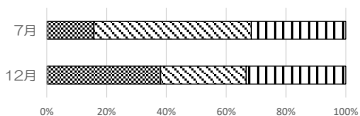


14 その他

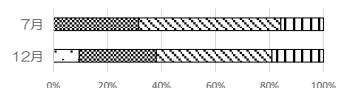
(40) マイノートの作成、教材研究



(41) 校内研究への参加



(42) 学校教育目標を意識した教育活動



15 評価項目にない事項等について

(イ) 環境作り（教師に入りやすい、話しやすい雰囲気、児童に寄り添う）

(ロ) 休み時間、放課後も含め児童と関わっている。

(ハ) 朝活中の地域へのあいさつ。

(ニ) 高学年を主とした異学年活動（発表会等）による仲間意識の形成や縦の連携の大切さを伝えている。練習時間の確保が充分でなく、まだまだ、達成感を味わわせていない。

(ホ) 時間を置かず、早く児童、保護者と連絡をとり指導を徹底する（生徒指導関連）。

(ヘ) 校内OJTの充実。例 学年で授業を見合う雰囲気を高める。「授業プランシート」をより簡素化、機能化する。

(ト) 特支学級を一つの学年にできないか(連携強化が必要)。席も行事の役割も学年としてお願いしたい。

(チ) 地域との連携を深め、人材を発掘していくためにも、学校行事と町づくり協議会の連携などができると思う（例PTA作業等）。

自己評価結果からみえてきたこと

I 確かな学力の向上について（1～6）

各項目の結果から、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを強く意識した取り組みがうかがえる。これらの取り組みを継続するとともに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力（人間性）」をバランス良く育むことを意識した取り組みの充実を期待する。

II 豊かな心の育成について（7～8）

学級活動の充実が少しずつ図られてきたと捉えられる。能動的に課題を発見し、相手の考えを尊重しながら話し合い、決定、実践する活動（自治的活動）を今後も充実していただきたい。「夢・希望」を持つこと、そのために、今、何をするかを考える児童が増えていることは、取り組みの成果と考える。あわせて、食育の充実も図られていることが結果からうかがえる。

III 健やかな体の育成について（9～13）

なわとび検定に多くの児童が取り組んでいることがうかがえる。この取り組みをきっかけの一つとして、運動に親しむ児童を増やしていきたい。

次にグラフ（29）（30）から学校の安全点検の充実と安全指導の徹底は次年度の課題と捉える。特に安全指導については、全教員が「達成できた」を目指していきたい。

◎今回の自己評価結果と日頃の授業参観の様子とを比較したとき、各先生方が自身の取り組み等を厳しく評価していることがわかる。そのことは、先生方が真摯に児童と向き合い、向上心を持って教育活動に取り組んでいると証と考えている。全体的な成果、課題と個人個人の成果、課題とは必ずしも一致しない事もあるかもしれない。今一度、二つの成果、課題を確認し、課題改善に向けて更なる取り組みの充実をお願いする。